

科目名	造 形 表 現	教員名	こにし しゅういち 小西 修一	開 講 コース	幼児教育	2年次	前・後期		
<p>・目的と内容</p> <p>保育の現場における造形表現活動の内容を理解し、それぞれの内容について目標、題材、指導方法等の研究を創作活動と結びつけて深める。</p> <p>具体的には紙による造形表現活動・木による造形表現活動・粘土による造形表現活動を中心に様々な造形素材を用いての造形表現活動を行います。</p> <p>年間2回ほど、共同制作に取り組みます。また優れた芸術作品の鑑賞、地域とのかかわりをもつ活動を取り上げる。</p>									
<p>・授業計画 [ 単位数：2単位、時間外授業：30回 ]</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>[ 前期 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション</li> <li>2. 紙を素材とした造形表現</li> <li>3. 紙を素材とした造形表現</li> <li>4. 紙を素材とした造形表現</li> <li>5. 紙を素材とした造形表現</li> <li>6. 教材研究</li> <li>7. 作品発表</li> <li>8. 粘土を素材とした造形表現</li> <li>9. 粘土を素材とした造形表現</li> <li>10. 粘土を素材とした教材研究</li> <li>11. 粘土を素材とした造形表現</li> <li>12. 粘土を素材とした造形表現</li> <li>13. 教材研究</li> <li>14. 作品発表</li> <li>15. まとめ</li> </ol> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>[ 後期 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション</li> <li>2. 木を素材とした造形表現</li> <li>3. 木を素材とした造形表現</li> <li>4. 木を素材とした造形表現</li> <li>5. 木を素材とした造形表現</li> <li>6. 教材研究</li> <li>7. 作品発表</li> <li>8. 様々な素材を用いた造形表現</li> <li>9. 様々な素材を用いた造形表現</li> <li>10. 様々な素材を用いた造形表現</li> <li>11. 様々な素材を用いた造形表現</li> <li>12. 様々な素材を用いた造形表現</li> <li>13. 教材研究</li> <li>14. 作品発表</li> <li>15. まとめ</li> </ol> </td> </tr> </table>								<p>[ 前期 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション</li> <li>2. 紙を素材とした造形表現</li> <li>3. 紙を素材とした造形表現</li> <li>4. 紙を素材とした造形表現</li> <li>5. 紙を素材とした造形表現</li> <li>6. 教材研究</li> <li>7. 作品発表</li> <li>8. 粘土を素材とした造形表現</li> <li>9. 粘土を素材とした造形表現</li> <li>10. 粘土を素材とした教材研究</li> <li>11. 粘土を素材とした造形表現</li> <li>12. 粘土を素材とした造形表現</li> <li>13. 教材研究</li> <li>14. 作品発表</li> <li>15. まとめ</li> </ol>	<p>[ 後期 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション</li> <li>2. 木を素材とした造形表現</li> <li>3. 木を素材とした造形表現</li> <li>4. 木を素材とした造形表現</li> <li>5. 木を素材とした造形表現</li> <li>6. 教材研究</li> <li>7. 作品発表</li> <li>8. 様々な素材を用いた造形表現</li> <li>9. 様々な素材を用いた造形表現</li> <li>10. 様々な素材を用いた造形表現</li> <li>11. 様々な素材を用いた造形表現</li> <li>12. 様々な素材を用いた造形表現</li> <li>13. 教材研究</li> <li>14. 作品発表</li> <li>15. まとめ</li> </ol>
<p>[ 前期 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション</li> <li>2. 紙を素材とした造形表現</li> <li>3. 紙を素材とした造形表現</li> <li>4. 紙を素材とした造形表現</li> <li>5. 紙を素材とした造形表現</li> <li>6. 教材研究</li> <li>7. 作品発表</li> <li>8. 粘土を素材とした造形表現</li> <li>9. 粘土を素材とした造形表現</li> <li>10. 粘土を素材とした教材研究</li> <li>11. 粘土を素材とした造形表現</li> <li>12. 粘土を素材とした造形表現</li> <li>13. 教材研究</li> <li>14. 作品発表</li> <li>15. まとめ</li> </ol>	<p>[ 後期 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション</li> <li>2. 木を素材とした造形表現</li> <li>3. 木を素材とした造形表現</li> <li>4. 木を素材とした造形表現</li> <li>5. 木を素材とした造形表現</li> <li>6. 教材研究</li> <li>7. 作品発表</li> <li>8. 様々な素材を用いた造形表現</li> <li>9. 様々な素材を用いた造形表現</li> <li>10. 様々な素材を用いた造形表現</li> <li>11. 様々な素材を用いた造形表現</li> <li>12. 様々な素材を用いた造形表現</li> <li>13. 教材研究</li> <li>14. 作品発表</li> <li>15. まとめ</li> </ol>								
<p>・講義の進め方</p> <p>様々な素材との触れ合いの中で様々な表現活動が展開されます。感性は、優れた芸術作品を見て正しくかわること、対象としっかり向き合っの創作活動によってすこしずつ豊かになってきます。</p> <p>創作活動は個人の取り組みと集団での取り組みの両方を取り上げます。授業の中で出来るだけ多くの本物と触れ合える機会を作ります。</p>									
<p>・試験と成績評価</p> <p>鑑賞と教材研究のレポートそして、取り組んだ作品が評価の対象になります。</p>									
<p>・担当教員から受講生諸君へ</p> <p>造形作品を見る目を高めることが大切です。よいものをたくさん見る。そして、自らが作る側に立つことによってより高まります。匠の技を少しでも皆さんに伝えることが出来ればと願っています。</p> <p>保育の中で子どもたちに造形の基礎能力を伝えますが、教える側にもそのための基礎能力が必要です。</p>									
<p>・使用教材</p> <p>教科書：必要に応じて配布する。</p> <p>参考書：必要なものを紹介する。</p>									